

# 青中だより



令和5年4月10日発行  
港区立青山中学校  
〒107-0061  
港区北青山一丁目1番9号  
電話 03-3404-7522

**教育目標** 自立 共生 創造 **生徒目標** 「真剣な学習」「節度ある行動」

## 新年度の初めに当たって

校長 中田 和直

新入生の皆さん入学おめでとうございます。また2年生、3年生の皆さん進級おめでとうございます。

4月7日(金)コロナ禍の閉塞感からも解放され、4年ぶりにご来賓として区長の武井雅昭様をはじめ、多くのご来賓をお迎えして保護者の皆様と2・3年生全員が参加して入学式を行うことができました。新たに40名の新入生を迎え、1年生38名、2年生45名、3年生45名、3組10名、全校生徒数138名で令和5年度が始まりました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染が徐々に収まり、概ね学校行事を実施することができました。コロナ禍で工夫を凝らした運動会や学芸発表会の実施が思い出に残る行事となり、仲間との協力や絆を深めることができ、新たな伝統として生徒に受け継がれ、令和5年度につながる大きな成果を挙げることができました。

令和5年度は学校においてはマスク推奨がなくなり、授業中のグループ活動の制限や給食における黙食もなくなりました。少しずつコロナ前の生活へと戻していきます。しかしながらマスク生活に慣れてしまってマスクを外す事が安感であったり恥ずかしいと感じたりするようで、生徒たちの中にもマスクを外すことに抵抗を感じている生徒も見受けられます。3年間にも及ぶコロナ禍の影響は大きいようです。少しずつ相手の表情が見える関係性の中で互いにより良いコミュニケーションが取れる日常へと戻していければと考えています。

令和5年度は1学期を「学級づくり」をテーマとし、1・2年生は校外学習をステップに3年生は修学旅行を契機として友人関係をさらに深め、お互いを高めあえる関係を築いてほしいと思います。

2学期は「より良い集団づくり」をテーマとし運動会に向けクラスの団結力や絆を深め、その後の3年生の進路選択に向けた取り組みや1年生の職業講話、2年生の職場体験へとつなげ、自分の将来を考える機会へとつなげてほしいと思います。

そして3学期は「総仕上げ」として1年生はスキー教室で、2年生は学芸発表会で中心となり、3年生は目指す進路実現と卒業におけてそれぞれの学年が総仕上げをしてほしいと思います。

今年度の1年間、青山中学校モットー「思いやりの心あふれる温かい学校」を意識し、人と人のつながりを大切に、様々なことに挑戦する1年間にしてほしいと思っています。

## 入学式歓迎の言葉 生徒会 会長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの少し先を歩く先輩として中学校生活を楽しむためのアドバイスをしたいと思います。皆さんはAPPLという会社を知っていますか。創業者スティーブ・ジョブスの言葉にこんなものがあります。「他人の意見で自分の本当の声を消してはならない。自分の直感を信じる勇気をもちなさい」。まだ中学生の私たちは大人や自分より頭の良い人から意見を言われると「それなんか違う」と思っても、不安になり、自分の意見を変えてしまうことがあります。確かに選んだ道はきっと賢く、けがをしない道なのでしょう。でもその「ちょっと違う」と思ったところがあなたの本質で、そこを譲ってしまったことはあなたの本質を捨てるのかもしれないのです。

こんな言葉もあります。「死ぬこと以外はかすり傷」。皆さんはこれから始まる中学校生活で沢山の失敗をすることでしょう。挫折してしまうこともあるかもしれません。でもそんなのはただのかすり傷です。ほおっておけば治ります。かすり傷を怖がって縮こまって、自分らしく生きられないのはつまらないと思いませんか。

自分を貫く「変な人だ」と笑う人もいるかもしれません。笑われて悔しい思いをしたときは、この言葉を思い出してください。「新しい時代を創ったのはいつも、人のことを笑った人たちではなく、人から笑われた人たちだ」。中学校生活では勉強ももちろん大切です。でも中学校での学びは、授業や家庭学習だけではありません。友達との時間や部活動など様々な経験を通して、自分で考えていくことで大きく成長できるものだと思います。3年間は短いです。だからこそ、その時間を楽しく、充実したものにしてほしいと思います。皆さん自分なりに精いっぱい努力できる3年間にしてください。

## 入学式誓いの言葉 新入生代表

今年の桜は気が早く、私たちの入学をお祝いしてくれるのに、張り切り過ぎてしまったようです。雨もあってお花見は難しかったですが、親戚や幼馴染といった、普段会えない人たちと会う機会を作ることができました。そんな楽しい春休みを過ごしてきた私たちですが、今は中学校生活が楽しみな気持ちでいっぱいです。それは先生方、上級生の皆さんや地域の方々から、お祝いと歓迎の気持ちをたくさんいただけたからだだと思います。どうもありがとうございます。

私が中学校生活で一番楽しみにしているのは、新しい友達との出会いです。私は友達と過ごす休み時間が、小学校でも一番の楽しみでした。何をしてもなく、一緒になんでもない話をしているだけで、とても楽しい時間でした。中学校には色んな考えをもった人がいると思うので、色んな刺激をもらいながら、一緒にいるだけで楽しい、そんな友達を作りたいです。ちなみに私が不安に思っていたのは、中学の勉強です。私の姉は、教科数が多く範囲も広い中学の定期テスト期間、毎回とても大変そうでした。勉強が苦手な自分にもやり切れるのか少し不安ですが、できるだけ前向きに、そして効率よく取り組みたいと思います。

今回誓いの言葉を述べさせていただくにあたり、誓うと言っても一体どんなことを誓えばいいのか、よくわかりませんでした。また誓ったとして自分はそれをやり遂げられるのか、とても不安でした。しかし、自分なりに考え、家族と相談する中で、なんとなくこうした方がいいかなと思ったことではなく、自分が心からやりたいと思えることを言葉にしようと思うようになりました。私が中学校生活でやりたいことはふたつあります。ひとつは、三年間の中学校生活を思い切り楽しみたいということです。小学校よりもやれること、世界が大きく広がると感じていて、特に部活は本当に楽しみです。大きく広がる世界を怖がらず、自分のペースで自分なりに楽しんでいきたいです。次に、自分の考えをもてるようになりたいということです。私は、大きく広がる世界に興味津々です。ですが、子供は善悪の判断がつかないと言われ、私も両親にたっぷり心配をかけている自信があります。自分の中にしっかりした基準をもち、目の前の出来事に対して、自分の基準に照らし合わせて良し悪しを判断したり、自分の意見を述べたりできるようになりたいです。そして大人に心配をかけずに、自分の興味の赴くまま、大きく広がる世界を自由に見て回れるようになりたいです。以上のふたつを、私の誓いしたいと思います。